

胎内市ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化の進行は深刻で、地球規模の気温の上昇のみならず、それが、豪雨災害などの自然災害を頻繁に引き起こし、さらには動植物の生態系にも重大な影響を及ぼすことが危惧されています。

そして、この温暖化の主な原因は、人類の諸活動による大気中の二酸化炭素等の温室効果ガス濃度の上昇によることがほぼ疑いのないところと考えられており、国際的な認識として、地球温暖化の抑止に向けて、2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにすることが必要であるとされています。

その必要性を踏まえると、大量の温室効果ガスを排出する化石燃料由来のエネルギーから脱却し、再生可能エネルギーの普及促進を図っていくことが有益であるため、胎内市が洋上風力発電の誘致を通じて、温暖化の抑止に取り組んでいくことは意義深く、世界の潮流に呼応しています。このような、脱炭素社会の実現を基底に据えた持続可能な地域づくりを進めることは、この地で暮らす人々の誇りの醸成につながるものと期待が寄せられているところです。

胎内市は、脱炭素の取組を地域の魅力と活力を向上させる大切な機会として捉え、当市が有する地域資源を最大限に活用しながら、市民、事業者及び行政が協働して、「胎内市ゼロカーボンシティ」を目指すことをここに宣言いたします。



令和3年10月12日

胎内市長 井畑 明彦